

われもこつ 第4号

1999年4月11日発行

目指すは 野はらの ビオガーデン

「自然は裸を嫌う」という名言があります。雨の多い日本では上があれば必ず草が生えてきます。それを抜いて裸にしているばかりでは、土は固まりいつまでも雑草退治に追われる事になってしまいます。

空き地に花を！

をモットーに始まった「われもこつ」の会」の活動。私たちはなるべく手をかけないで、野草を増やそうとしています。もともと自然に生えていた野草ですから、園芸種よりはずっとたくましいのです。

でも砂利やコンクリートまじりの建設残土の上ではちよつとたいへん。人間が少しの間、手をかけてあげなければ、失われた生態系は戻りません。

雑草に負けず、季節ごとに次々と花を咲かせ、翌年も同じように生えて咲き乱れるような原っぱにしたいものです。

高山・亜高山地帯のお花畑が何も手を加えずに毎年多様な花が咲き乱れるように・・・

(次頁へつづく)



それには、地面を這う宿根草（低層の草丈十五センチくらい）

で土を覆い、その間から中層の草（草丈十五〜二十五センチ）や、さらに高層の草や灌木（五十センチくらい）と三段階に植え込むという調査があります。軽井沢に自生していた草花や灌木でこのような原っぱを作れば、最小の手間で最大の効果を得ることができます。

バイオガーデンの手法をつかって校庭や駐車場の片隅や、空き

地に、自然のお花畑を再現できたらいいですね。

皆さんのアイデアを教えてください。どんな花とどんな花は相性がいいか、逆に、この花は強すぎて駄目だ、とか。また、昔の軽井沢には、こんな花が、こんな場所に咲いていた、ということなど。ちよつとしたことでも是非、教えていただきたいと思えます。

※参考文献 『野生を呼び戻すバイオガーデン入門』 婦人の友社（東京）（七八年八月刊）



バイオガーデンとは...

「バイオ」は BIO のドイツ語読みで、「生物」を意味します。英語読みの バイオ は、我が国では、生物工学の意味で用いられることが多いので、ドイツ語読みの「バイオ」を採用しました。バイオガーデンを直訳すれば、「生物庭園」、自然の要素を取り入れた庭園ということ。ビオトープ（野生生物の生活の場）的庭園という意味も含まれています。

特別寄稿

軽井沢町全体に

野の花を！

中軽井沢 Y・H.

初秋のある日、友人とウォーキングしていたら、新幹線の側の「前沢の原っぱ」で一生涯命株分けをしている人を見かけ、草花の大好きな私達は、さっそく話しかけてみました。これが「われもここの会」を知るきっかけでした。

軽井沢にきて十年。私共夫婦は春から秋にかけて、休日に花を求めて霧が峰や湯の丸、白根山等の高原にリュックを背負いでかける事を楽しみとしていました。そんな折り、軽井沢の野

山を散策して「野の花を見る会」があることを知り、時間の許す

かぎり御一緒させてもらっています。遠くは横浜や東京から新幹線で見え、七十人位になることもあります。もう数年来、参加している方も多く、地元にいる私より「どこに」「何の花が」「いつ頃咲くのか」を知っていてビックリすることがしばしばあります。でもその場所が突然開発され木々が伐られ一変してしまう事をたいへん嘆いておられました。

都会にない自然の宝庫である軽井沢から山野草がだんだん失われていくことを思うと、今私達がそれらに目を向けていかなければならない時だと日々痛感しております。

この本！ おすすぬ！



舞踊家のクレアは、原発性肺高血圧症という難病に罹され心肺同時移植手術を受けた。ドナーはバイク事故でなくなった十八歳の若者。著者クレアの、臓器提供を受けるまでの苦難の道のりと、その後の不可思議な体験を綴ったノンフィクション。ドナーカードを作ろうかどうか迷っている人におすすぬの書。

「冠動脈狭窄する心臓」 角川書店
クレア・シルヴィア & ウィリアム・ノヴァック 著



スイセンと りんどう わけてください！！

今年も松虫草とオミナエシの里親になって下さる方募集してます。

詳しくはわおほこの会事務局まで

そんな折り、「われもここの会」の方に出会いホット心がな

ごむ気持ちになりました。まだ二年目だというのに着実に活動している通信一〜三号を見せていただき、私もさっそく入会させていただこうと思っております。中軽駅前空き地や長倉神社等に春〜秋まで代わるがわる野の花が咲き町民や観光客の憩いの場になる「原っぱ」がたくさん出来ればと願っているところです。又いろいろな場で情報交換をし、軽井沢町全体に大きな輪となって広がっていく事を希望しております。

もうすぐ春。今年も「前沢の原っぱ」にどんな花が咲き始めるのでしょうか？
今からわくわくしています。

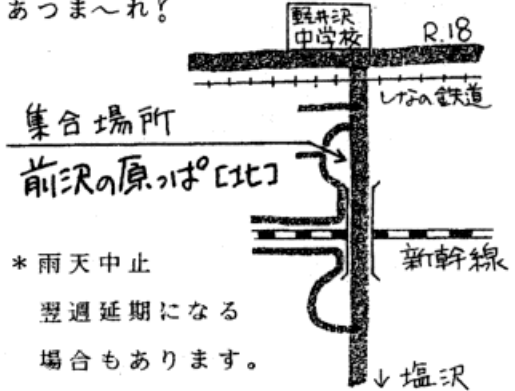
前沢の原っぱと一緒に 野の花の世話をしませんか

お知らせ!

5月	16日	日曜日 午後2時
6月	6・20日	
7月	4・18日	
8月	8・22日	
9月	5・19日	
10月	3・17日	

要注意

5月から毎月第1・第3日曜日の
午後、(注; 8月のみ第2、第4)
原っぱの手入れをするつもりです。
軽井沢に野の花を増やしたいひと、
あつまれ!



*雨天中止
翌週延期になる
場合もあります。

時間 午後1時30分～3時30分

草むしりや苗の植え付けなどを
します。スコップやすき、くわ等、
作業道具持参でご参加ください。
日除けの帽子や軍手、長靴も忘れ
ずに!!

われもこの会 会員募集

年会費 2,000円
ただし65才以上および、
18才未満の方は 500円

- *会員はボランティア活動
保険に自動的に加入され
ます。(無料)
- *軽井沢町社会福祉協議会
よりボランティア活動費
助成として本年度20,000
円支給されました。